



「感染症と社会問題」をテーマに白熱した議論を繰り広げる中根教授と学生たち

教授、学生 白熱トーク

弘大図書館「ライブラリカフェ」

弘前大学付属図書館は本年度、同図書館や学内施設を活用した新たな表現の場として「ライブラリカフェ」を始めた。教員と学生が月

1回のペースで集い、さまざまなテーマで討論、インターネットで「生放送」し学内外に情報発信する。1回目の6月24日は同大学構

内の「弘大カフェ」（旧制弘前高校外国人教師館）で、医学研究科の中根明夫教授と医学生が、コーヒーを飲みながら白熱したトークを繰り広げた。

初回のテーマは「感染症と社会問題」。付属図書館を務める中根教授が「1980年に天然痘が根絶され感染症は克服できると思われたが、その後もさまざまな感染症が出てきた。感染症を社会問題として話し合いたい」と呼び掛けた。

医学生5人がトークに参加。学生たちは「発展途上国で健康への意識が低いのは貧富の差も背景にあると思う」「経済的支援など社会問題としてのアプローチがなければ、感染症を減らすことはできないのではないか」などと発言。会場の十数人が聴き入り、佐藤敬

学長らも議論に加わった。トークの様子は「YouTube Live」で生放送。録画版を「YouTube」で配信する。

ライブラリカフェは、昨年度行ったトークイベント「ラウンジトーク」の後継事業。次回は7月21日午後4時から同図書館で開催する予定で、中根教授は「大

※この記事は東奥日報社提供です。

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

[問い合わせ先]

弘前大学附属図書館 jm3162@hirosaki-u.ac.jp